



県立柿崎病院の運営主体見直しはどのようなか
橋爪 法一（日本共産党議員団）



問／新潟県病院局が令和2年2月10日に明らかにした県立13病院の役割や在り方の見直し案では、柿崎病院について、県の運営から地元上越市への運営移行を提案している。地元自治体としてどう受けとめたか。また、県病院局との協議の状況はどうか。

答／当市には、令和2年1月30日に担当課長が来庁した。柿崎病院の現状やこの間の経営委員会の検討経過について説明を受けたほか、「地域医療病院」の類型に属し、「へき地病院」と位置付けている柿崎病院について、「市で主体的に運営できないか」との提案があり、意見を求められた。当方からは、当市が、上越地域医療センター病院のほか、9つの診療所を運営していること、新たな医療機関を市で保有するということとは財政負担のみならず医師確保の面からも厳しいとの考えを示すとともに、まずは県が自らの努力で経営改善に努めるべきと伝えた。



小規模農家が農業を継ぎ続けるよう支援を
小竹 俊之（輝）



問／市の政策は、全般的に大規模農家や法人へ向けての政策になっているように思える。まだまだ少ない面積でも細々と続けている生産者があり、また、続けたくても離農せざるを得ない人もいた。そうした人たちが今後も農業を継続できるようにするための対策を考えられないか。

答／大規模農家や法人だけで市内の全ての農地を担うことは現実的ではないことから、その地に根差した小規模農家も含めた経営体のバランスを取るこそ、上越市農業・農地の維持、振興に向けて重要であると考えている。兼業農家や外部からの新規就農者が続けていけるような方策を、いろいろな角度から考えていかなければならない。

新野球場、現段階における規模等の考えは

問／令和2年度予算に新野球場建設の可能性を精査するための土地利用調査費があるが、現段階でどのような規模の野球場を考えているか。

答／現在検討中の新野球場の規模は、野球の各種大会や合宿、コンサートなど様々な利用も想定している。幅広い利用と質の高さの両面を実現できるよう、また、様々な北信越地域のイベントの誘致やボールパークという考え方を含め、市民に納得してもらえよう準備を進めていく。



行政改革の取組評価と地域活性化
宮崎 政國（創風）



問／行政改革などの取組への評価を聞きたい。

答／総力を挙げて課題を克服し、新たな活力を見出しながら持続可能な社会を次世代へ引き継ぐため、市民と共に市政を運営してきた。多様な価値観や思いを互いに理解・尊重することで一体感を養い、多くの正しい選択肢の中から一つの答えを市民の皆さんと共に選んでいきたい。

問／地域内イベントへの支援策を聞きたい。

答／地域活動に対する助成などを通じ、支援している。地域の取組を継続できるように、財政面での支援を引き続き考慮し、地域の課題解決に向けた取組への支援の充実が必要と考える。

問／第6次総合計画における地域拠点・生活拠点等をまちづくりによりのようにいかすのか。

答／市街地などの特性に応じて拠点を区分し、少子高齢化社会においても必要なサービスを確保し、交流や賑わいによる活性化が図られるよう、地域の特性をいかしたまちづくりを進めたい。

小中学校の適正配置、一歩踏み込んだ計画は

問／地域自治区を超えた見直しはありうるのか。

答／現在複式学級がある学校や、5年以内に複式学級が見込まれる学校の保護者や地域と話し合い、複式学級解消に向けた方策を検討していく。その中で、学校統合や学校間の連携については、地域自治区の範囲に限らず検討していく。